

学 長 候 補 者 所 信 書

平成27年3月11日

国立大学法人北海道教育大学学長選考会議議長 殿

学長候補者氏名 渡部 英昭 (自署)

1. ビジョン及び望ましい学長像に基づく方針について

**人と人の協働により、教育大に新しい風を**

**基本方針Ⅰ ガバナンス改革の推進**

社会の変化に即応した大学改革を推進していくための「ガバナンス改革」は、機構・制度の改革だけではなく、同時に、機構・制度の主体的・効果的な運用に不可欠である教職員のモチベーションを高め、人と人の協働によるマンパワーの充実を図る運用面の改革を行うことも必要です。これにより、今までの成果を第3期中期計画においてさらに発展させ、新たな課題にも取り組んでいくことが可能になります。

そのために、以下の4点の具体方針の下でガバナンス改革を推進します。

(1) 機構・制度改革とマネジメント改革の一体的推進

目的達成のための機動的かつ効果的な合意形成とマンパワーの向上を図るための組織マネジメント改革を機構・制度改革と一体的に進め、本学の人的・知的資源を活用し、信頼関係に基づいた働きがいのある職場環境を実現します。

(2) 学長・理事・副学長による「トップコミュニケーション」の活性化

教育研究機関たる大学の経営にとって学内の合意と協働による遂行意志の形成が重要です。学内外に向けたトップコミュニケーションを積極的にを行い、各校教員と定期的な対話の機会を設定するとともに、多様な媒体で教職員に直接発信します。

(3) ミドル・アップダウン・マネジメント手法の活用

経営トップたる学長の責任ある決断と行動の前提として、ミドル・アップダウン・マネジメント手法の活用により中堅教職員の活力を引き出し、教職員の大学経営に対する当事者意識、職務遂行力、意欲の向上を図ります。

(4) 「教職協働」体制の推進

各委員会等の構成員に教員と職員の両者を位置付け、大学運営を担う対等な立場での闊達な議論を通して相互理解を深め、教職員の力の相乗的な向上を目指します。また、そのためにFDとSDを融合した取り組みを導入します。

**基本方針Ⅱ 大学の教育研究機能の強化**

いま、北海道教育大学に求められているのは、第1に教員養成機能の強化、第2に地域に貢献できる人材の育成、第3に大学としての社会貢献であると考えます。現在進められている「教育大改革」を、教職員が一体となってさらに推し進めていくために、以下の6点の具体方針の下で大学の教育研究機能の強化に取り組みます。

(1) 新しい課題に対応した大学の教育研究活動の改革

アクティブ・ラーニングを柱とした学習指導要領改訂を踏まえた教員養成カリキュラムのさらなる充実、教科横断的能力の育成、食育、防災教育等への対応、へき地小規模校での遠隔授業やICTを活用した教育方法の確立など、教育と研究の融合を推進します。

(2) グローバル人材育成の推進

社会のグローバル化に伴い、グローバル人材育成は大学の今日的課題です。グローバル教員養成プログラムにとどまらず、芸術・スポーツ分野や地域協働等の領域で、JICA、JICEと連携して、国際的視野にたった地方自治体や民間で地域の活性化に携わる、より発展的な充実した人材育成プログラムを構築します。

(3) 教育委員会との協働・連携の推進

北海道教育委員会、札幌市や地域の教育委員会との連携は、地域の教育に対する責任を負う立場を共にするとの認識に立って行うことが重要です。具体的な教育課題について闊達な論議を交わし、それぞれの取り組みについて実務者レベルが協議する場を新たに設置します。

(4) 学部・大学院と附属学校の協働・連携の推進

附属学校とのこれまでの連携の実績を継承しつつ、附属学校の役割である「大学の計画に基づく教育実習の実施」「大学の教育に関する研究に協力」という観点から、大学教員の実践的指導力の育成・強化と学校現場に密着した教育と研究を連携して組織的に推進します。

(5) 大学院の充実策と連携の推進

修士課程は、高度専門職業人としての教員養成をめざし、教職大学院、学校臨床心理専攻との三者における特徴ある機能分化と効果的な連携の在り方を構想し、組織再編を実施します。また、地域の活性化を推進する高度な専門性を有する人材を育成するために、新学科に対応した修士課程を構築します。

(6) 国際貢献の継承・発展

エジプト、サモアでの成果を活かし、発展途上国の国づくり、人材養成において重視されている初等理科教育における国際教育協力をJICA等と連携して実施します。

2. 自由記述

函館と岩見沢の新学科が発足して2年目を迎えます。札幌、旭川、釧路では教員養成改革を行いました。教職大学院ではコース再編を実施しました。この4月から入学する学生や院生は新しいカリキュラムで学び始めます。

新生・北海道教育大学に清々しい新しい風を吹かせたい、人が人と協働し人を育てる大学にしたい、そう強く思っています。教職員皆で英知を出し合い、協力し、大学力を高め、社会からより一層信頼される大学にしていこうではありませんか。

(注) 用紙は、A4縦型とし、概ね2000字以内で作成すること。